

新年明けましておめでとうございます。

一年の計は元旦にあり、と申しますが平成二十九年の輝かしい新春を迎えて、皆様には心を新たにしていって、しっかりと前をみつめていくことと存じます。

日頃、社会福祉法人愛生会・吉浜荘に對しまして多くの方々から温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。今年もよろしくお願い申し上げます。

さて、迎えた平成二十九年は、社会福祉法人にとって大きな転換点となる法人の制度改革が、昨年三月末に国会で成立し、本年四月一日から本格施行となります。効率的な経営を實踐して、利用者のいろいろな福祉ニーズに對応するため、法人のもつ役割は大きなものがあります。又、建物の周囲を見回すと、施設の老朽化も少しづつ見えるようになってきました。優先的に取り組まなければならぬのは、施設内外の防犯上、改善を必要とする箇所等については見直しを行い、整備補修を實施して、利用者が安心して生活が来るよう配慮して参りたいと思います。

結びに、皆様のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます、年頭に当り挨拶と致します。

社会福祉法人 愛生会 理事長 森 斌

スネカ

三陸町吉浜地区では毎年1月15日に行われる、子供たちの健やかな成長

豊作・豊漁を祈願する小正月の伝統行事「吉浜のスネカ」が行われ、今年

スネカ保存会の方が3名来荘してくれました。みんな食堂で夕食を待っていると「グォ、グォ」と鼻を鳴らしながら「泣くワラシいねえが、言うこと聞かねワラシいねえが」と叫びスネカが「キハ」と呼ばれる偽物の刃物を振り回しながら利用者を脅かします。

スネカの迫力に涙ぐむ人、圧倒され言葉も出ない人など様々な反応がありました。スネカは近年、吉浜中学校の全校生徒がスネカ役を務め、地域を盛り上げています。国の重要文化財の担い手が中学生だとは驚きですね。どうかスネカがなくならないように、伝承し続けて欲しいと思います。



みずき団子作り

1月14日今年も小正月恒例のみずき団子をみんなで作りました。

赤や黄や緑や桃や白と華やかな色、そしてさまざまな形。団子を

丸める方、飾り付けをする方みんなイキイキしてますね。その後は昼食前に皆で味わいました。

皆で作ったみずき団子は正面玄関と食堂に飾っております。みずき団子の由来は豊作祈願だそうです。

今年の農作業が、順調でありますように。豊作の秋を、迎えることができますように。



体験学習

11月30日、吉浜小学校4年生の皆さんが体験学習に来てくれました。普段あまり見ることのない浴室やトイレを見学して、工夫されている所を見て実際に触れてみたり真剣な表情で説明を聞いていました。



実際にストレッチャーに横になってもらいました。



手に取ってみると工夫してある所がよくわかります。



ポッチャゲームで利用者さんと交流もしました。小学生が相手だとはいえ、こちらを負けるわけにはいきません。しかし・・・結果は4年生さんの圧勝でした。敗因は年齢でしょうか・・・



最後は剣舞を披露してくれました。勇壮な姿に感動です。



今回は送迎にリフトバスを使ってみました。行きと帰りに交代で車椅子に乗り、車内はとても賑やかでした。今、学校で流行っているのは‘P P A P ‘だとか・・・笑いの絶えない笑顔いっぱいの方から、たくさん元気をもらいました。

クリスマス忘年会

12月15日にクリスマス忘年会を開催しました。オープニングは利用者さんからのリクエストに応じてクリスマスソングを職員みんなで大合唱しました。各テーブル事にビンゴゲームをしてサンタサンからプレゼントをもらいました。お寿司バイキングにオードブル、料理サークルで作成したクリスマスケーキ、どれもこれも美味しかったようです。利用者さんのカラオケに感動したり、笑ったり。今年も楽しく会を終えることができました。皆さんの素敵な笑顔にメリークリスマス。



クリスマスカード

利用者さんが毎年楽しみにしているクリスマスカードが今年も届きました。サンタクロースに扮した吉浜中学校の生徒さんが、利用者一人一人に手渡しし届けました。カードには折り紙で作った雪の結晶の装飾と心温まるメッセージが書かれていました。居室に飾ったり、枕元に置いたりしている方もいました。吉浜中学校の皆さん。素敵なクリスマスカードありがとうございました。



あったか〜いごちそう 手打ちうどん

今年も手打ちうどんをつくりました。『粉』が『うどん』になっていく様子は、何度見てもウキウキします。この後に美味しいうどんが食べられるぞ、という大きな期待にニンマリしてしまうのでしょう。粉に水を少しずつ入れて練って、踏みつけて練って…実際は練ったうどんを寝かさなければならぬので、厨房では前日に仕込むのですが…練って、伸ばして伸ばして、切って、茹で上げます。澄んだ汁をかけて、さあ、どうぞ召し上がれ。感想は、みんな一言「おいしい!」「また食べたい!」



楽しかった(^^) クラシック演奏会

11月5日「世界一ヘタクソな音楽家」と銘打ったクラシックコンサートがあり

金子ひでおさんという方ですが、東日本大震災の被災地を一人で回られている

という事でした。フルートとバイオリンを演奏します。音楽は独学だそうです、気持ちの伝わる優しい音色で、食堂に集まった大勢の利用者の皆様も、穏やかな表情で聞き入っていました。演奏した曲はどれもどこかで聞いたことがあるようなものばかりです。最後にはバイオリンを触らせていただき、緊張しながらそれでも音が出ると『ドヤ顔』の利用者さんでした。思いがけなく楽しい音楽会でした。



あたたかいお志・ご奉仕活動ありがとうございました。

平成28年10月1日～平成28年12月31日(順不同)

古水 健吾 様	鈴木 せい子 様	平田 佳代子 様	佐々木 次男 様	合田 一末 様
小山 勝也 様	松坂 さつき 様	佐藤 武男 様	鎌田 千枝子 様	田端 美喜子 様
古川ポンプー関支店 様	大船渡市農業協同組合 三陸支所 様	ワタキューセイモア 様		
つくし薬局 猪川店 様				

編集後記

去年の今頃はインフルエンザに怯える日々でした。今年は今の所、ご利用者職員共、インフルエンザ、ノロウイルスなどに罹ることなく過ごしております。これが続くことを期待しつつ、暖かい春を待ちたいと思います。

